

事務連絡

令和8年6月8日

各都道府県・指定都市教育委員会  
高等学校 GIGA スクール構想主管課長 殿

文部科学省初等中等教育局  
参事官（デジタル学習基盤担当）

### 高等学校情報科に係る指導体制の一層の充実について

生成 AI をはじめデジタル技術が飛躍的に発展する中、GIGA スクール構想の着実な実施及び情報活用能力の抜本的な向上のため、高等学校情報科の指導体制の一層の充実が重要な課題であり、特に臨時免許状所有者及び免許外教科担任の解消に向けて、各教育委員会における計画的かつ着実な取組が求められています。

令和6年12月に、文部科学大臣が中央教育審議会に対して行った「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について（諮問）」においては、中学校技術・家庭科（技術分野）にも関わる情報活用能力の抜本的向上を図る方策について議論することが示されました。

現在、中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会情報・技術ワーキンググループにおいては、情報活用能力の抜本的向上や高等学校情報科の改善の在り方について検討が進められています（参考資料1）。主要な論点として、情報活用能力の体系的な育成や高等学校情報科の内容の改善・充実が示され、主な検討事項として、高等学校においては情報科における資質・能力の育成の在り方や、情報Ⅰ・情報Ⅱの内容の改善・充実等が検討されています（参考資料1）。

また、文部科学省では、小・中・高等学校を通じた情報活用能力の抜本的向上に向けた指導体制の強化を図るため「情報活用能力の抜本的向上を支える指導体制改善プラン（令和7年9月25日）」を公表しております（参考資料2）。

こうした中で、昨年度に引き続き、令和7年度における公立高等学校情報科担当教員の採用・配置等に関する状況を調査したところ、担当教員 4,389 人のうち、144 人が高等学校教諭臨時免許状（情報）の授与を受けた者又は情報の免許外教科担任の許可を受けた者であることが明らかになりました（別添1）。令和6年度調査に比べて、一部の自治体では改善が見られるものの、依然として全国的な状況の改善には至って

おりません。改善の遅れが見られる教育委員会におかれては、引き続き改善を行っていただくようお願いします。

文部科学省では、高等学校情報科に関する特設ページにて研修に役立つ授業解説動画や実践事例を提供していますので、指導体制の改善と並行して、個々の教員の指導力向上に資する取組の充実をお願いします（参考資料3）。

【別添1】 令和7年度高等学校情報科担当教員の配置状況

【参考資料1】 情報活用能力の抜本的向上に係る主な課題  
探究的な学びの基盤となる情報活用能力の整理  
(教育課程企画特別部会論点整理より抜粋)

【参考資料2】 情報活用能力の抜本的向上を支える指導体制改善プラン

【参考資料3】 高等学校情報科特設ページ  
情報Ⅰ授業解説動画  
情報Ⅱ授業解説動画  
NHK 高校講座「情報Ⅰ」

【本件連絡先】

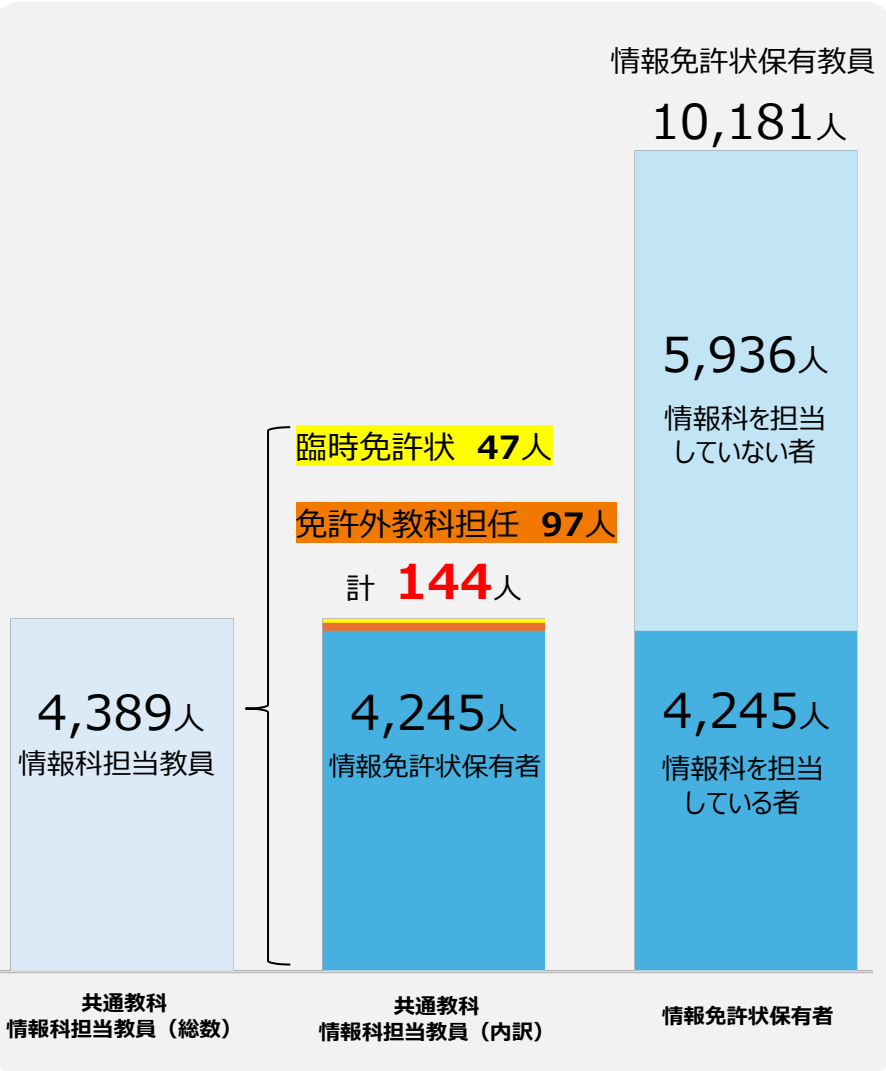
初等中等教育局 参事官（デジタル学習基盤担当）付 情報教育振興室

電話：03-5253-4111（内線：2702）

e-mail：[digital-pt@mext.go.jp](mailto:digital-pt@mext.go.jp)

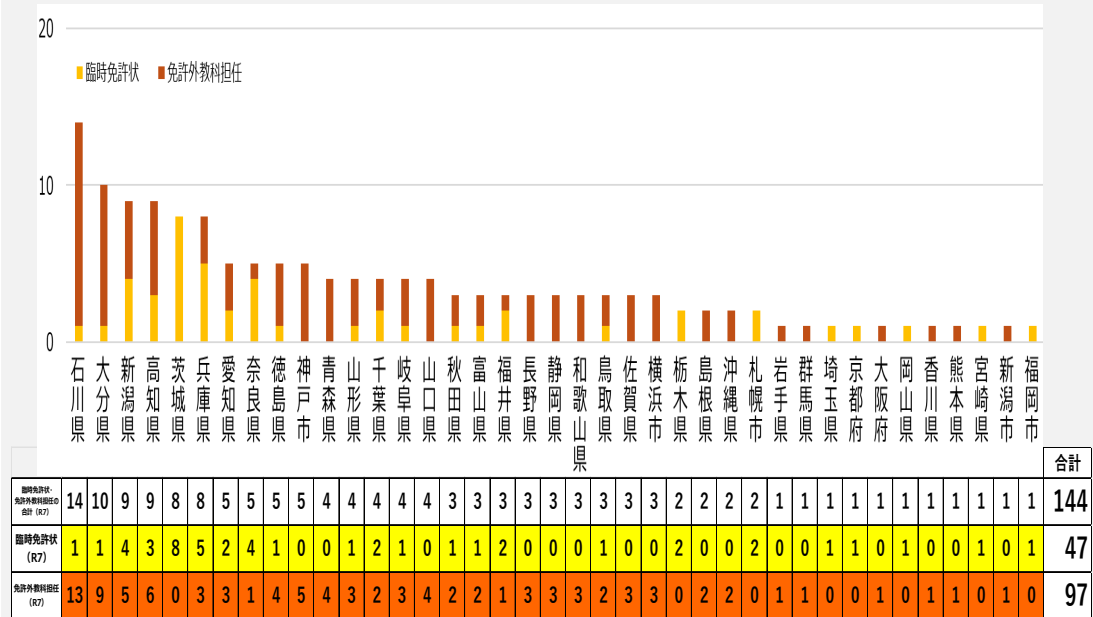
## 公立特別支援学校高等部含む

※令和7年度調査より、公立の特別支援学校高等部（知的障害のみを対象とする特別支援学校を除く）の指導体制に関する調査も加えています。



## 臨時免許状及び免許外教科担任数(自治体別)

臨時免許状・免許外教科担任が1人以上いる都道府県・政令指定都市は39/65  
(高等学校の設置のない相模原市・大阪市は除く)



※臨時免許状・免許外教科担任が0の都道府県・政令指定都市は除く

※臨時免許状及び免許外教科担任で共通教科情報科を担当している144人については、研修の受講やクラウドを活用した授業実践の共有など指導体制の充実に努めていると回答

※本資料における用語の定義は以下のとおりとする。

- ・情報科：共通教科情報科
- ・情報免許状：高等学校教諭普通免許状（情報）及び高等学校教諭特別免許状（情報）
- ・臨時免許状：高等学校教諭臨時免許状（情報）の授与を受けた者
- ・免許外教科担任：高等学校において、情報の免許外教科担任の許可を受けた者

# 情報活用能力の抜本的向上に係る主な課題

- 小中高を通じた育成体系が不明確であることや、他国と比べ指導内容が不十分であること等の課題を踏まえれば、情報活用能力の抜本的向上に向けた内容面の充実の方向性については、**（１）どのように情報技術の活用の実態を高めていくか**（主に①活用）、**（２）内容として不足している部分をどう充実するか**（主に②適切な取扱い、③特性の理解）という観点で総合的に整理することが重要

## 情報技術の

※コンピュータ、情報通信ネットワーク、AI、メディア等

### ①活用

情報技術の基本的な操作及び情報技術を活用した情報の収集、整理・比較、発信・伝達等に関すること

#### <具体的な課題>

- 小学校において教科等に明確に位置付けがなく、地域や学校による差が大きい
- 探究の学習の過程において情報技術の活用が十分ではない

### ②適切な取扱い

情報技術を扱う際の留意事項に関すること（情報モラル、権利と責任等）

#### <具体的な課題>

- メディアリテラシーについて学校の取組差が大きい（発信源の確認、複数媒体の比較、ファクトチェック等）
- 急激なスピードで広がる負の側面への対応が不十分（フィルターバブル、エコーチェンバー、デジタルとアナログの適切な使い分け、長時間利用の影響の理解を含むデジタルとの適切な距離の置き方に関する自己調整）

### ③特性の理解

情報技術の特性の科学的な理解に関すること（コンピュータの仕組み、データ活用等）

#### <具体的な課題>

- 小学校では扱われていない
- 中学校では技術分野の一部での取扱いにとどまる（産業や職業との関連が弱い）
- 学校種通じ、生成AI等の先端技術に関わる内容が明確に位置付けられていない

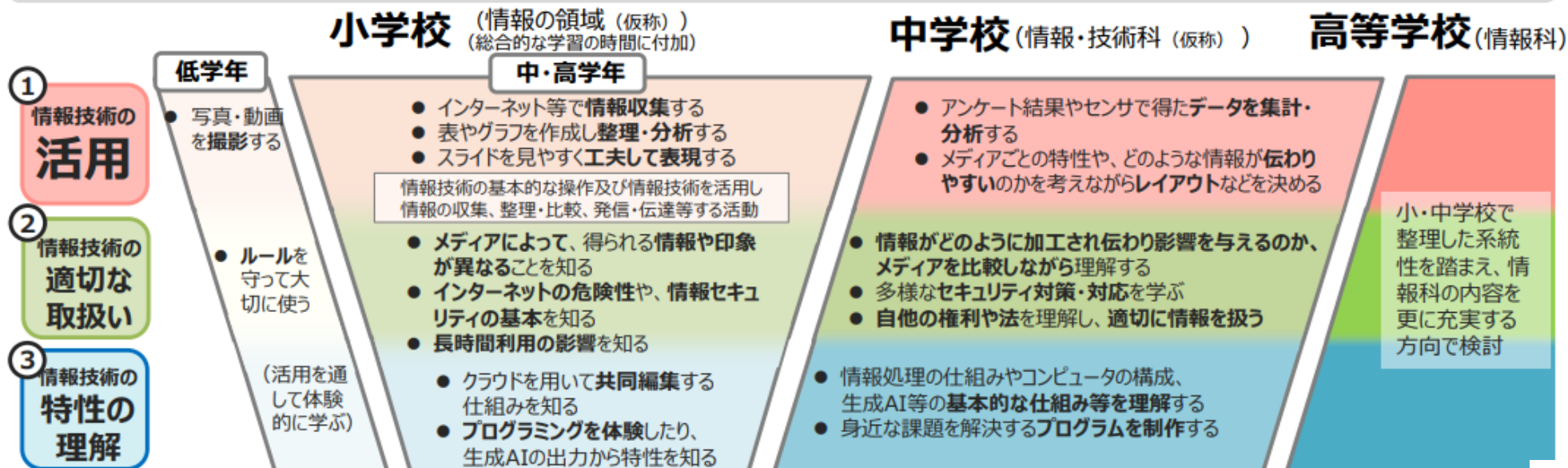
## 1. 情報活用能力を構成する各要素の関係を以下のとおり整理すべき



- 情報技術を自由自在に活用し、自らの人生や社会のために課題解決や探究ができる力がこれからの時代を生きる上で不可欠であることから、「**①活用**」を情報活用能力の中核的な構成要素と整理
- 「①活用」する力を発揮するためには、併せて認知や行動に与えるリスクに対応する「②適切な取扱い」が必要となること、仕組みや背景を含めた情報技術の「**③特性の理解**」によって、より効果的な活用や適切な取扱いが可能になることを踏まえ、②③を①を発揮するための構成要素と整理
- 高校段階では、高等教育段階での数理・データサイエンス・AI教育の動向とも連動し、文理を問わず生成AI時代に不可欠な基礎的な素養である「特性の理解」を身に付けられるよう、内容を充実

## 2. 上記整理に基づき、おおむね以下のようなイメージで発達段階に即した学習活動を検討すべき

- ✓ 小学校段階……体験的な活動を重視し、「①活用」を中核としながら、「②適切な取扱い」、「③特性の理解」と相まって培う
- ✓ 中学校段階以降…各要素の内容を深めつつ、より抽象的・科学的な理解を必要とする「③特性の理解」を一層重視



※上記の学習活動の例は網羅的に示したのではなく、今後更に専門的な整理・検討が必要。特にタイピングは国語科との役割分担を検討する必要

- 生成AIをはじめデジタル技術が飛躍的に発展する中、次期学習指導要領の議論において、情報活用能力育成のための教育内容を体系的・抜本的に充実する方向性が示されている
- 小・中・高等学校を通じた情報活用能力の抜本的向上を図るためには、それを支える**指導体制の抜本的強化が不可欠**
- このため、**次期学習指導要領の全面実施を待つことなく**、安定した指導体制の下で、情報活用能力の育成が展開されるよう、本プランに基づき、**令和8年度から逐次改革に取り組む**

## 目指す姿



- ✔ 次期学習指導要領の**全面実施までに**、教員の負担を減らしつつ、質の高い授業を展開するための**総合的な支援が充実**している
- ✔ **令和10年度までに**、中学校技術分野担当教員における**臨時免許状所有者・免許外教科担任がゼロ**となっている

## 以下の取組を総合的に推進

### I 教員の指導力向上・負担軽減に資する研修動画・研修コンテンツの充実

- 体系的・系統性を意識した研修動画の作成
- 教員等の指導力向上に資する研修コンテンツの作成
- 効果的なコンテンツの実証研究
- 中学技術・高校情報教員同士の連携強化
- 次期学習指導要領に即した環境整備



### II 効果的・効率的な指導体制の確立

- 情報活用能力の抜本的向上に向けた学習者用教材開発・実践事例創出
- 中学技術科における外部人材活用に係る調査研究
- 中学技術科の複数校指導・遠隔授業に係る調査研究
- 学校種間の連携の促進
- 学校における支援スタッフの配置支援
- 民間企業等の外部人材派遣促進策の検討
- 地元企業人材の活用促進に向けた税制改正



### III 中学校技術分野・高等学校情報担当教員の免許状所有状況の改善

- 免許法認定講習改革
- 中学技術・高校情報の免許取得可能大学の増加
- 特別免許状の授与促進・特別非常勤講師の活用推進



# 指導体制改善プラン ～To-Be～

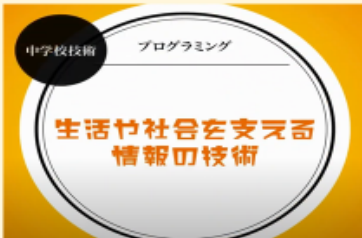
## 目指す姿



- ✓ 次期学習指導要領の**全面実施までに**、教員の負担を減らしつつ、質の高い授業を展開するための**総合的な支援が充実**している
- ✓ **令和10年度までに**、中学校技術分野担当教員における**臨時免許状所有者・免許外教科担任がゼロ**となっている

## I

### 教員の指導力向上・負担軽減に資する研修動画・研修コンテンツの充実



文部科学省作成  
研修動画シリーズ

- **令和8年度から逐次**、体系的・系統性が意識され、質の担保された**研修動画・研修コンテンツ**が作成され普及
- **次期学習指導要領の全面実施までに**、蓄積された研修動画等の作成ノウハウを活かした**研修動画集、研修コンテンツ集**が普及し、教師等の授業負担が軽減



## II

### 効果的・効率的な指導体制の確立

- 情報活用能力の育成について、**開発された学習者用教材等**に基づいた**効果的・効率的な指導方法が確立**
- 専門性を有する外部人材が教育現場に流入するとともに、**外部人材の活用や複数校指導・遠隔授業等の手法が普及**し適切な人材配置が可能に



教材開発・実践・  
取組事例創出イメージ

## III

### 中学校技術分野・高等学校情報担当教員の免許状所有状況の改善

- **免許取得可能大学増加**により**取得希望者が大学へアクセスしやすくなる**とともに、免許法認定講習等を受けやすくなることで免許取得者が増加
- 民間企業等の質の高い外部人材が、**特別免許状を取得の上**、教育現場に
- **令和10年度**には、すべての自治体で**臨時免許・免許外教科担任がゼロ**に

#### 全自治体における令和10年度目標

臨時免許状所有者・免許外教科担任数：**0**

※中学校技術分野担当教員

	R7	R8	R9	R10
臨時免許状所有者 免許外教科担任	1,864	1,279	674	<b>0</b>

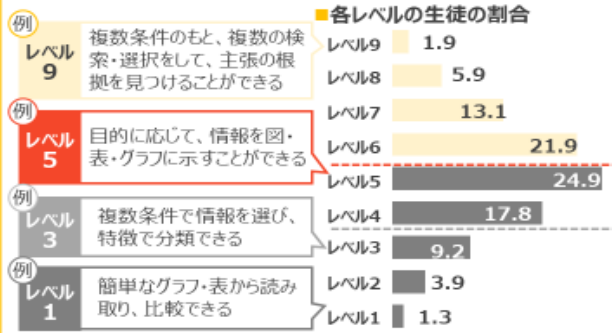
# I 教員の指導力向上・負担軽減に資する研修動画・研修コンテンツの充実

## ① 現状・課題

※中学校の現状を例示

政府のKPI 中学校のレベル5以下の割合をR8年までに20%以下に

現状 57.1%

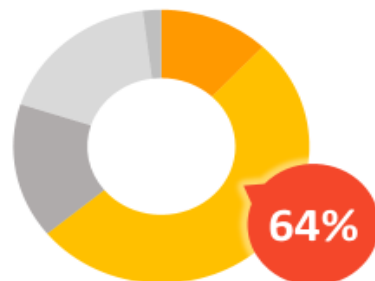


生徒の情報活用能力は  
いまだ十分な水準ではない  
(令和3年度情報活用能力調査)

情報活用能力の  
向上を支える  
教員の指導力の  
向上が不可欠



■プログラミング教育に関する指導について「課題がある」「やや課題がある」と回答した都道府県教育委員会の割合



指摘された課題例

- 生徒が問題を見出して、課題を設定しプログラミングで解決する学習が十分に行われていない
- 文書作成や表計算などのソフトウェア操作の指導が中心になっている 等

課題が生じる理由に関する回答例

- 研修の機会が十分ではない
- 教材が十分にそろっていない 等



中学校技術・家庭科（技術分野）の指導体制及びプログラミング教育の現状及び課題に関する実態調査（令和5年2月）の結果を基に作成（非公表）

## ② 改革のための主な施策

### ■体系的・系統性を意識した研修動画の作成

小学校 中学校 高校

- 現行学習指導要領下における情報活用能力の育成に関して、体系的・系統性が意識された、授業実践動画（教員が指導方法を研修できるとともに、授業や子供の自習等においても活用できる）を作成する【R8要求】
- 指導のポイント等をまとめた教員向け研修動画や、文部科学省作成の各種研修動画に対する指導主事向けの研修コンテンツを作成する【R8要求】
- 次期学習指導要領に対応した研修動画集の作成を検討する



### ■教員等の指導力向上に資する研修コンテンツの作成

小学校 中学校 高校

- 教員や指導主事の指導力向上を図るため、文部科学省が主催する対面を含む研修の充実、研修のオンデマンド動画の配信、教員や指導主事が活用できる研修用資料・研修用コンテンツの作成を行う【R8要求】



### ■効果的なコンテンツの実証研究

小学校 中学校 高校

- 質が担保されたコンテンツを作成するノウハウの収集を目的として、文部科学省で作成する各種動画・研修コンテンツについて、その効果の検証を行うことを検討する



### ■中学技術・高校情報教員同士の連携強化

中学校 高校

- 中学技術・高校情報の教員の“横のつながり”を醸成し、教員同士による指導力向上等の研鑽機会を設けるとともに、密な情報共有を可能とするためのプラットフォームの構築を検討する



### ■次期学習指導要領に即した環境整備

小学校 中学校 高校

- 次期学習指導要領を踏まえたICT環境・教材の整備の在り方について、情報活用能力の向上に資する内容となるよう検討する



# I 教員の指導力向上・負担軽減に資する研修動画・研修コンテンツの充実

## ③ ロードマップ



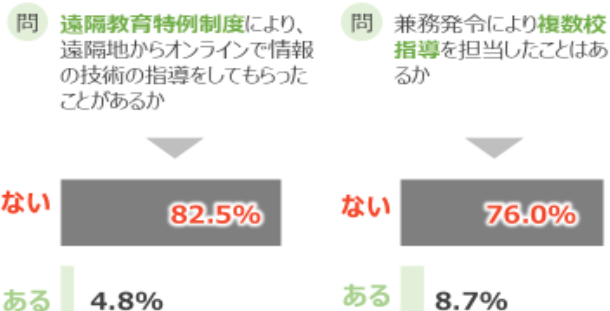
■ 現行CSに対応した中学校・高校のコンテンツ
 ■ 次期CSに対応した小学校のコンテンツ
 ■ 次期CSに対応した中学校のコンテンツ
 ■ 次期CSに対応した高校のコンテンツ

※CS…Curriculum Standard(学習指導要領)の略称。以下、本資料において同じ

## II 効果的・効率的な指導体制の確立

### ① 現状・課題

#### ■ 中学校技術・家庭科に関する全国アンケート調査



第63回全日本中学校技術・家庭科研究会大会山形大会  
全日本中学校技術・家庭科研究会 研究調査部 令和6年11月14日 資料より

#### ■ 高校情報における外部人材活用に当たって自治体が希望する支援 ※35都道府県



#### ■ 高校情報には外部人材活用や複数校指導に関する手引きが存在



中学技術に対応する手引きは存在しない

### ② 改革のための主な施策

#### ■ 情報活用能力の抜本的向上に向けた学習者用教材開発・実践事例創出

小学校 中学校

- 情報活用能力の抜本的向上に向けた学習者用教材等を開発するとともに、教材等の実践・検証や、取組事例の創出を実施する【R8要求】



#### ■ 中学技術科における外部人材活用に係る調査研究

中学校

- 教育委員会が、中学技術科における外部人材を活用した指導を円滑に活用・運用するため、事例の収集や手引きの作成等を実施する【R8要求】



#### ■ 中学技術科の複数校指導・遠隔授業に係る調査研究

中学校

- 教育委員会が、中学技術科における複数校指導や遠隔授業を円滑に活用・運用するため、事例の収集や手引きの作成等を検討する



#### ■ 学校種間の連携の促進

小学校 中学校 高校

- 学校段階の壁を越えて情報教育を担当する教員を派遣する等、教育委員会主導の下で取り組まれている好事例の展開等を検討する



#### ■ 学校における支援スタッフの配置支援

小学校 中学校 高校

- 免許法認定講習や研修を受講しつつ、教材研究等にも注力できるようにすることを含め、学校教育活動の充実に資するための支援スタッフの配置を充実する【R8要求】



#### ■ 民間企業等の外部人材派遣促進策の検討

小学校 中学校 高校

- 小学校・中学校・高等学校等に対して、産業界等から講師等として人材を派遣するための促進策を検討する



#### ■ 地元企業人材の活用促進に向けた税制改正

小学校 中学校 高校

- 地元企業の地域学校協働活動への参画促進に向けた法人税の税額控除を創設するための税制改正要望の中で、中学技術科・高校情報科における指導者・指導補助者派遣を可能とするよう検討する【R8要望】



## II 効果的・効率的な指導体制の確立

### ③ ロードマップ



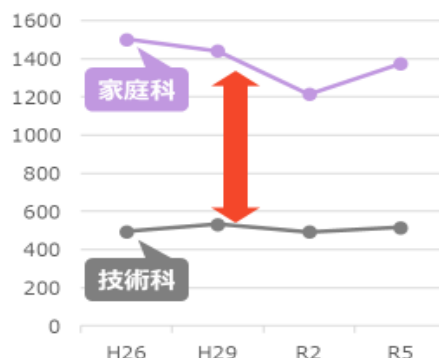
# Ⅲ 中学校技術分野・高等学校情報担当教員の免許状所有状況の改善

## ① 現状・課題

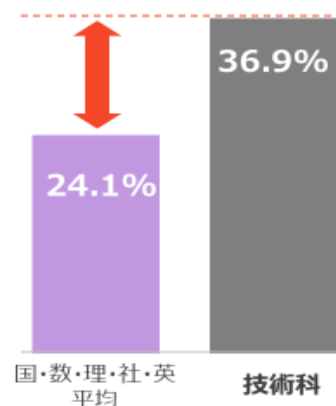
### ■ 中学技術担当教員の免許状所有状況 (令和6年度)



### ■ 中学技術免許授与件数の推移



### ■ 教科別50代教員が占める割合(令和4年度)



### ■ 認定講習・認定公開講座開設状況(令和6年度)

中学技術(二種) 1大学 7講座  
 開設総数(全教科) 32大学 320講座

### ■ 教員免許状を取得できる大学数(令和6年度)

中学技術(一種) 65大学  
 教員養成大学総数 約600大学

## ② 改革のための主な施策

### ■ 免許法認定講習改革

- 中学技術科の免許取得を促進するため、免許法認定講習等における優良な講習プログラムを開発・実施している大学等に対し、オンラインを前提として、全国のエducational委員会と連携した大規模な講習を実施するための総合的な支援を行う【R8要求】
- また、当該大学等が行う講習の実施補佐のため、複数の連携大学を指定し支援する【R8要求】

中学校



### ■ 中学技術・高校情報の免許取得可能大学の増加

中学校 高校

- 中学技術・高校情報の教員養成課程の新設のため、例えば、高校工業を開設している大学に対し、共通の授業科目として設置可能な中学技術・高校情報の課程開設を促すなど対策を検討する
- 中学技術・高校情報の教員養成課程を新設する大学や現在開設している大学に対する施設設備等の支援策を検討する



### ■ 特別免許状の授与促進・特別非常勤講師の活用推進

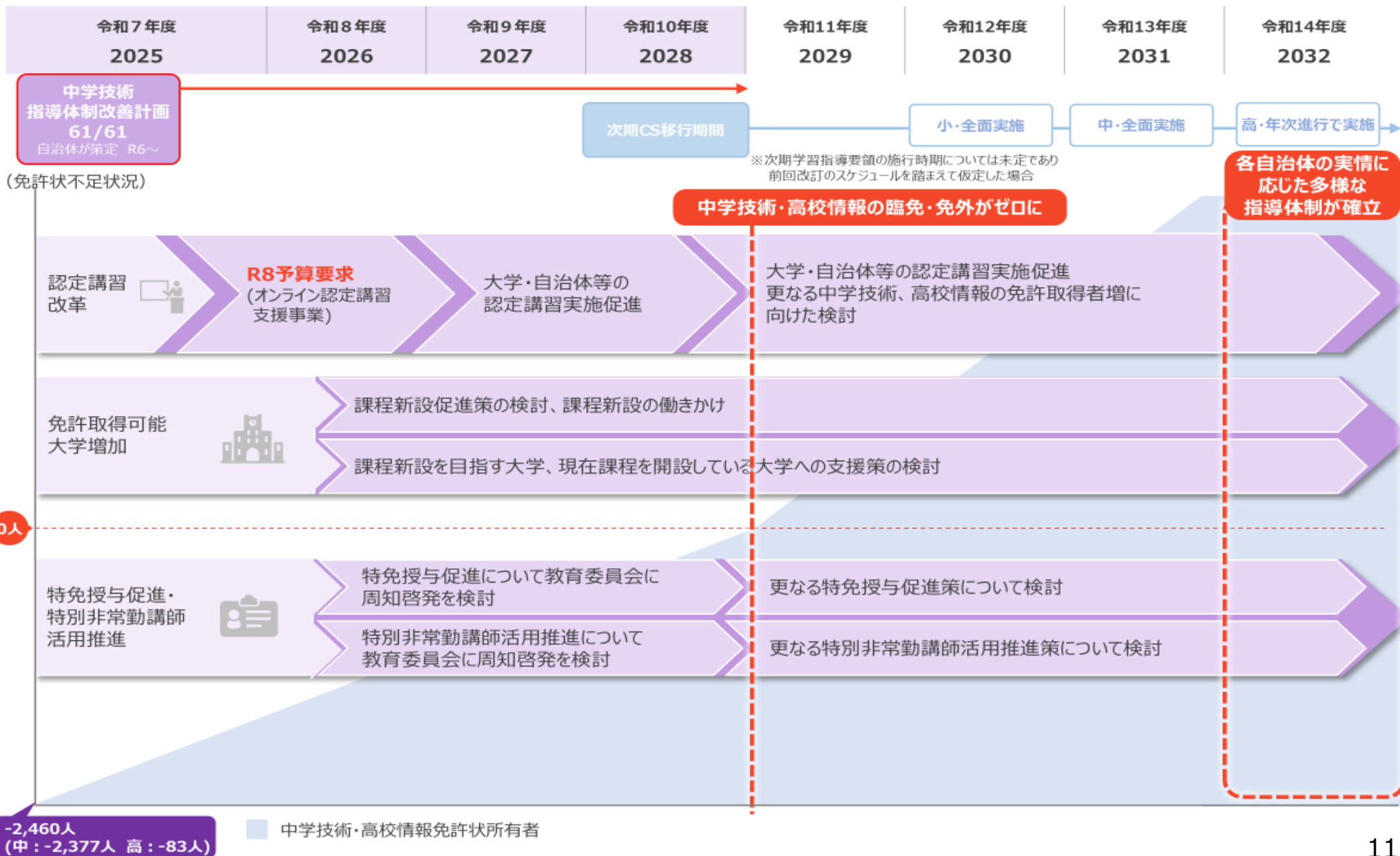
中学校 高校

- 民間企業等の専門人材に対する中学技術・高校情報の特別免許状の授与促進や、専門人材の特別非常勤講師としての活用推進について、教育委員会に対する普及啓発の実施を検討する



# Ⅲ 中学校技術分野・高等学校情報担当教員の免許状所有状況の改善

## ③ ロードマップ



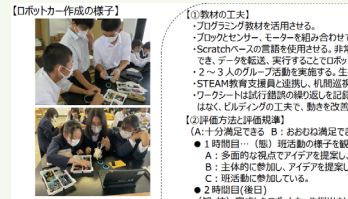
# 高等学校情報科特設ページ



高校情報科  
メールマガジン



- 高等学校学習指導要領
- 高等学校学習指導要領解説
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料  
(国立教育政策研究所)
- 授業担当者が活用できる**授業・解説動画**や**スライド**、**ワークシート**、**実践事例等**（ダウンロード可）を多数掲載



## 学習指導要領

## 授業・研修用コンテンツ

## 実践事例

## 体制の工夫

## 外部人材の活用

## 通知・事務連絡等

## 情報Ⅱ解説動画

- 情報関係人材の活用促進にむけた指導モデル及びカリキュラムの手引き
- 免許保持教員による複数校指導の手引き
- 予算や人材の手配、授業の準備・実施、活用の改善等に関する内容（ダウンロード可）を紹介
- 共通教科情報科の指導の充実にに向けた通知等を掲載
- 高校情報科に関するチラシ（ダウンロード可）も掲載
- 授業担当者が活用できる**授業・解説動画**や**スライド**（ダウンロード可）を多数掲載

- 情報Ⅰ、情報Ⅱを学ぶ参考となる、**動画教材**、**プログラミングの体験コンテンツ**、**データサイエンスの詳しい解説等**を紹介



## 生徒用コンテンツ



# 情報I授業解説動画

高等学校情報科に関する内容はこちら



高校 情報科 🔍

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm)

体験を通して学べる

1本約15分程度

優れた指導力を有する教師による  
授業解説動画等×21本




情報I  
情報デザインの要！  
情報の構造化



梅沢 崇

情報I  
センサーライト  
を作ろう！



三井 栄慶

情報I  
情報デザインの  
極意！  
「具体化」と「抽象化」



千葉 緑

情報I  
意外と簡単！  
自分でできる  
ネットワークの構成



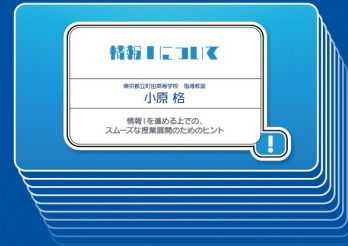
小松 一智

計21本

- 梅沢 崇
- 鎌田 高德
- 小松 一智
- 須藤 祥代
- 武善 紀之
- 田崎 文晴
- 千葉 緑
- 登本 洋子
- 三井 栄慶
- 村井 純

(敬称略 五十音順)

動画をさらに  
解説した  
研修用動画も掲載！



- 情報Iを進める上での、スムーズな授業展開のためのヒント
- 情報Iにおける「主体的・対話的で深い学び」を行うためのヒント
- 3学期に向けたデータサイエンス概論
- データの種類に応じた分析・教育実践事例
- 情報通信ネットワークの仕組みと運用
- 生徒がプログラミングする際の留意点
- アルゴリズムの比較から効率的なアルゴリズムの理解の仕方
- 情報をデザインすることの意義、デザインするための一連の進め方
- 情報・メディアと問題解決の進め方
- 「情報II」に向けた情報教育概論

## SPECIAL

村井純慶応義塾大学教授

「楽しいデジタル社会を作ろう！」  
～君たちはなぜ今、情報を学ぶのか～



村井 純

登本洋子学芸大准教授

「情報Iってなんだろう？」  
～情報科・情報Iの魅力～



登本 洋子

教科調査官×情報科教師



須藤 祥代

田崎 文晴

NEW

コンテンツを  
まとめて掲載



高等学校情報科に関するメルマガ登録はこちら

高等学校情報科に関する特設ページはこちら



# 情報II授業解説動画

高等学校情報科に関する内容はこちら



高校 情報科 🔍

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416746.htm)

体験を通して学べる

1本約15分程度

優れた指導力を有する教師による  
授業解説動画等×19本



情報II  
重回帰分析を用いた予測  
春日井 優

情報II  
Bit Arrow の使い方①  
教育アカウント等の登録  
鎌田 高德

情報II  
情報システムってなに？  
鎌田 高德 小松 一智

情報II  
Web制作  
須藤 祥代 鎌田 高德  
白井 詩沙香

計 19 本

- 春日井 優
- 鎌田 高德
- 上平 崇仁
- 小松 一智
- 白井 詩沙香
- 須藤 祥代
- 武善 紀之晴
- 田崎 丈晴
- 長 慎也
- 遠山 紗矢香
- 蓮池 隆
- 登本 洋子
- 三井 栄慶

(敬称略 五十音順)

動画をさらに解説した  
研修用動画も掲載！

情報II  
統計的手法によるデータ分析  
蓮池 隆

- 統計的手法によるデータ分析
- 機械学習によるデータ分析
- 情報システムを作ってみよう
- 情報システムを改造してみよう
- 情報IIにおける「コンテンツ」の題材や内容をどう解釈するか
- 豊かな学びを実現する情報IIの探究
- 情報デザインに配慮したコンテンツを制作してみよう
- 創造性を育む情報IIの探究

SPECIAL !!

情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探究

情報IIにおける探究とは  
探究の準備から見直し  
取り組みとゴール  
探究の始め方・取り組み方

大学教員×情報科教師

コミュニケーションと  
コンテンツ  
情報と  
データサイエンス  
情報システムと  
プログラミング

NEW  
コンテンツを  
まとめて掲載



高等学校情報科に関するメルマガ登録はこちら

高等学校情報科に関する特設ページはこちら



文部科学省初等中等教育局参事官(デジタル学習基盤担当)付

高校生も先生も、誰もが待っていた情報教育番組誕生！

# NHK E テレビ NHK 高校講座



**番組HPで  
いつでもどこでもチェック！**  
<https://www.nhk.or.jp/kokokoza/jouhou1/>

**文部科学省教科調査官が全面協力**

## 情報 I Informatics



**出演：野田クリスタル(マチカルラブリー)  
村上(マチカルラブリー)  
正源司陽子(日向坂46四期生)**

毎回のミッションは高校生に切実な問題ばかり。チームを組んで、試行錯誤しながら解決することで、高校生たちは「情報のチカラ」を身に付けていく。始まったばかりの「情報 I」の学び方、教え方を、楽しく分かりやすく伝えています。

## 情報 I Informatics

**高校生の悩みを解決するゲームを創ろう！ with野田クリスタル**  
高校生の悩みと、それを解決するゲームのアイデアを大募集。  
その中から、野田クリスタルが「創ってみたい」と思う内容を、自らのゲーム愛を語りつつ実際にプログラミング。Pythonを学びたいという野田さんと一緒に、プログラミングをイチから学び、楽しいゲームを自作できるようになろう～という1分ほどのミニコーナー。（監修：ゲームクリエイター廣瀬豪）

